

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業

(単位:円)

実施計画No.	事業名称					担当課
1	PCR検査センター開設事業					健康推進課
総事業費	財源内訳					
	臨時交付金	国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源
634,356,729	173,023,000					461,333,729
事業期間	R4.4.1～R5.3.31					
目的	市民及び観光客が検査を身近に受けることができる環境を引き続き整備し、感染者の早期発見による感染拡大防止と市民の安心・安全を確保するため、PCR検査センター(抗原検査センター併設)を開設する。					
実施内容	新型コロナウイルス感染症の検査を身近に受けることができる環境を整えることにより、感染者の早期発見による感染拡大防止と市民の安心を確保するため、60歳以上または基礎疾患のある市民等を対象にPCR検査及び市民や観光客等を対象に抗原検査センター実施し、陽性判定が出た方については、本人に通知するとともに大分県保健所へ発生届を提出した。令和4年9月26日に大分県が全数把握を終了したことに伴い、対象者(60歳以上もしくは基礎疾患のある方)以外は、健康フォローアップセンターに届けるようお願いした。また、令和4年10月24日から全国旅行支援を利用する別府市民や別府市内で全国旅行支援を利用する観光客等に対して、検査結果通知書を発行した。					
効果	PCR検査数19,198件、抗原検査数55,267件に対して検査を行い、2,009件の陽性を判定することで、市内の感染拡大の抑止と、市民の安心・安全を確保することができた。また、検査結果通知書を8,922件発行した。					
写真						